

St. Luke's International University Repository

聖路加看護大学年報: 2008年度 (平成20年度)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-01-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/4728

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



XVII 自己点検・評価

自己点検・評価に関する規程に従って、9回（5月、8月と2月を除く毎月第3火曜日）の定例委員会を開催し活動を行った。自己評価委員会は学長に直属する常設機関である。委員は学長のほか、学部長、教務部長、学生部長、図書館長、看護実践開発研究センター長、事務局長で構成すると規定されている。委員会にはほかに総務課長が事務担当として出席した。

1. 大学基準協会による認証評価の報告書作成

大学基準協会により2008年3月24日付で公表された評価結果は、「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2015(平成27)年3月31日までとする。」というものであった。

2007年度に委員会がまとめ大学基準協会に提出した「点検・評価報告書」ならびに同協会から授与された「大学基準適合認定証」および「聖路加看護大学に対する大学評価結果ならびに認証評価結果」を編集し、2008年4月に『聖路加看護大学 知と感性と愛のアート』として刊行した。同冊子は、法人事務局、図書館に備え付けたほか、法人理事・評議員・監事、教職員、非常勤講師や実習施設・給付奨学金団体等に配布したほか、大学ホームページにも掲載した。

2. 2007年度年報の作成

2007年度年報を作成（11月6日完成）し、教職員、役員・評議員、民間の奨学金財団等に配付した。2008年1月22日の第9回委員会で、執筆内容・担当者表、個人業績報告票作成内容などについて了承され、2007年1月31日に学内に依頼状を発信した。完成予定を7月末に設定したが、編集に手間取り完成が遅れた。

3. 修士学生によるカリキュラム評価への対応

学生から回収した2007年度大学院修士課程の修了時の授業評価ならびにカリキュラム評価、および2008年度前期科目評価の調査票について、回答の必要な項目を抽出し、回答を学内のウェブに掲載するための作業を実施し、2008年3月にイントラネットに掲載した。

4. 教員評価・職員評価の実施案について

11月13日(木)に桜美林大学大学院教授の諸星裕氏を招いて、「我が国の大学の欠陥、GPA、教員評価、など」と題する講演会を開催した。氏の経験に基づく米国と日本との大学評価制度の比較など示唆に富む内容で50名余の教職員が聴講した。

教員評価ならびに職員評価の実施に関して委員会で提案した原案が2009年3月24日の臨時教授会で承認され、2009年度に実施する運びとなった。

実施目的は、「PDCA サイクル[plan-do-check-action]に乗せて、個人やその個人の所属する組織、さらには大学全体のレベルの改善や改革に結びつける」ことである。

期初の被評価者による目標設定と1次評価者との対話を5月に、中間期の目標達成状況についての対話を9月に、そして期末における被評価者による自己評価と1次評価者・2次評価者等による対話・評価を2010年2月に実施する。この承認を経て、また結果を踏まえて2010年度の新たな目標設定を行うこととしている。また当面は、評価結果を給与や手当、研究費に反映させることなく、教員・職員の活動向上を目指したい。

5. 2008年度年報の作成準備

第9回委員会（2009年1月20日）において、執筆内容・担当者表、個人業績報告票作成内容などについて了承され、2008年1月23日に学内各担当教職員に依頼状を発信した。完成予定を7月末に設定した。

聖路加看護大学年報 2008年度（平成20年度）

2009年7月

発行者 聖路加看護大学

〒104-0044 東京都中央区明石町10番1号

TEL (03) 3543-6391

FAX (03) 3565-1626

[Http://www.slcn.ac.jp/](http://www.slcn.ac.jp/)

コクダイ印刷株式会社